

南関町教育長だより

道

第20号 R7.8.19



まだ暑い日が続きます。
体調管理を十分に！

第七五回社会を明るくする運動推進大会・ 青少年育成推進大会

八月三日（日）にUkaraにおいて開催しました。南関中吹奏楽部の演奏、金融被害に関する講話、作文標語の発表、全員合唱などが行われました。心が豊かになる一日でした。令和7年度の青少年育成作文と標語を募集しましたところ、作文に43点、標語に519点の応募がありました。どの作品も、児童生徒の皆さんが、自分の生活を振り返り、しっかりと考えて先生やおうちの方のアドバイスを受けながら努力して作り上げた様子が分かるものでした。その中から特に優秀な作品を表彰し、発表してもらいました。

まず、作文についてですが、自分の体験をもとに、生活を豊かにしたり自分自身を高めたりするために考えたことを述べてありました。学年が上がるごとに経験も深まり、自分の心の中を掘り下げて見つけることができていて、成長を感じて内容ばかりでした。

次に標語ですが、夢が広がる楽しいものや友達やクラスの仲間を思い浮かべながら、相手を思いやる優しい心がにじみ出た作品がたくさんありました。一七文字前後の少ない文字数の中で自分の思いを表現するために、思いが伝わる輝く言葉が効果的に使われていました。

来年も、子どもたちの素晴らしい発表を期待しています。

して 町教育支援センターに入級

教育委員会では、学校に行きづらさを感じている子どもたちの居場所づくりとして、中学校の校内と校外に教育支援センターを設置しています。そこに、保護者の方からお気持ちが寄せられましたので紹介します。

常にどうしよう？という気持ちがあり、本当に手探りで過ごしてきましたが、いつまでも明先で言ってもらえない言葉にパワーをもらえず、感謝していません。ここでの出会いは、これからの人生に糧になるものだと思います。

子どもが辛い時期に気持ちに寄り添ってくださったことで、自信を取り戻すことができたと思います。なかなか一歩が踏み出せずにいる時も、温かく見守ってくださってありがとうございました。ご心配をおかけすることも多々ありましたが、だんだんと笑顔も増え、生活や先生との会話の様子をよく話してくれるようになり、居心地の良い場所であることがよく伝わってきました。親としても学校から孤立した気持ちになりがちでしたが、先生がいつも明るく声かけをしてくださることに救われました。

今日の論語

子曰く、「**学びて思わざれば則ち罔し。思つて学ばざれば則ちあやうし。**」

先生が言われた、「学んでも考えなければ、物事ははつきりしない。考えても学ばなければ、独断に陥って危険である。」

学ぶことの意義と学ぶときの留意点を端的に表した言葉だと思えます。学んだことは学びっぱなしではいけません。自分の中でかみ砕いて自分のものにすることで真の学びとなると思います。また、学ぶことで自分の考えを確かなものにし、もし誤っていたら修正できる機会が生まれます。学ぶことは、大切です。しかし、難しいです。